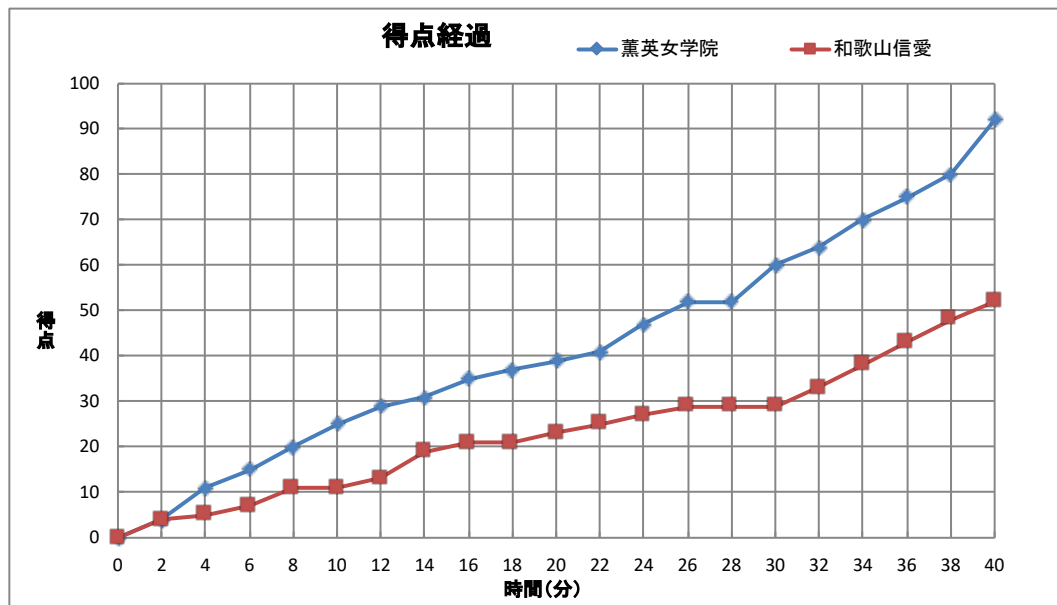




第34回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

女子		令和6年2月17日		15:50 開始													
準々決勝		ジェイテクトアリーナ奈良		A													
◎ 薫英女学院		92		52 和歌山信愛													
(大阪)		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>25</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>6</td></tr> <tr><td>32</td><td>4th</td><td>23</td></tr> </table>		25	1st	11	14	2nd	12	21	3rd	6	32	4th	23	(和歌山)	
25	1st	11															
14	2nd	12															
21	3rd	6															
32	4th	23															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
4	齋藤 穂佳	1	0	0	1	0	* 4	山本 和叶	14	0	6	2	2				
* 5	三輪 美良々	24	0	11	2	3	* 5	日浅 未羽	9	1	3	0	2				
* 6	幡出 麗実	2	0	1	0	0	* 6	立岡 春咲	11	0	5	1	3				
* 7	黒川 春陽	6	0	3	0	0	* 7	蔭山 実玖	10	2	2	0	5				
* 8	岩井 萌	17	2	4	3	1	8	岩倉 涼華	-	-	-	-	-				
9	宮武 明月	0	0	0	0	0	* 9	神崎 美玖	2	0	1	0	3				
10	的場 梨緒	18	1	4	7	2	10	竹中 桃子	2	0	1	0	4				
* 11	富田 涼々野	2	0	0	2	0	11	角谷 実咲	4	0	2	0	2				
12	小俣 亜矢	10	0	3	4	0	12	金原 ひより	-	-	-	-	-				
13	下崎 好	3	0	1	1	0	13	藤本 陽菜	-	-	-	-	-				
14	荒木 琉伽	2	0	1	0	0	14	森 ゆきの	-	-	-	-	-				
15	西澤 菜菜	2	0	1	0	0	15	妹尾 穂花	-	-	-	-	-				
16	廣嶋 あかり	0	0	0	0	0	16	中田 結月	-	-	-	-	-				
17	大砂 菜穂	5	1	1	0	0	17	山崎 紗	-	-	-	-	-				
18	荒木 花愛	0	0	0	0	1	18	此下 璃羽子	-	-	-	-	-				
コーチ	安藤 香織						コーチ	宮本 浩次									
Aコーチ	長渡 由子						Aコーチ	入口 鈴									
合 計		92	4	30	20	7	合 計		52	3	20	3	21				
<p>クルーチーフ: 田中 優志</p> <p>1stアンパイア: 南 麻衣 2ndアンパイア: 尾崎 優真</p>																	



TO	1・2Q		3・4Q			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	11:55	16:40	28:06	33:51	36:15	:	:	:	:

[戦 評]
 大阪薫英#5三輪、#6幡出、#7黒川、#8岩井、#11富田
 和歌山信愛#4山本、#5日浅、#6立岡、#7蔭山、#9神崎

第1Q
 両チームマンツーマンディフェンスでスタート。大阪薫英は#5三輪のポストプレーで得点を重ねる。一方、和歌山信愛は#4山本のドライブインで得点するが、大阪薫英の激しいディフェンスと高さでおされ、25対11で第1Qを終了する。

第2Q
 大阪薫英#7黒川、#10的場がゴール下を支配し、得点を重ねる。対する和歌山信愛は#6立岡が3本連続でシュートを入れ応戦する。残り1分のところで、ハイピックから大阪薫英#12小俣のドライブインが決まる。和歌山信愛も第2Q終了間際にシュートを決めるも39対23で大阪薫英がリードで前半終了。

第3Q
 大阪薫英#8岩井がドライブインから得点すると、和歌山信愛#9神崎もドライブインで応戦する。大阪薫英の岩井、的場が3Pを決め、リードを広げる。和歌山信愛の立岡、#10竹中が得点するも点差は縮まらない。その後3分間互いのシュートが決まらずゲームの展開が進まなかったが、大阪薫英#6幡出、岩井が果敢に攻撃し、60対29と大阪薫英がリードを広げ第3Qを終了。

第4Q
 大阪薫英の三輪、的場がポストプレーで前半と同様に得点を重ねる。和歌山信愛は山本、#5日浅のシュートや#7蔭山の3Pで応戦するも点差は縮まらない。その後も、大阪薫英は小俣のドライブイン、#15西澤のポストプレーで得点を重ね、リードを広げる。和歌山信愛も蔭山の3Pや山本のシュートで対抗するも大阪薫英の高さとディフェンス力に得点が伸びず、92対52で敗戦となった。
 夏の近畿大会で優勝を果たした大阪薫英がベスト4進出となった。

戦評: 川崎 弘策 記録: 天理高校